

ふるさと発見！（小・中学生向け）

いどおり せいじょうがくふ
井通・青城学府

〈児童・生徒数〉 令和7年5月1日現在

とよだみなみ 豊田南小学校	408人
せいじょう 青城小学校	492人
とよだみなみ 豊田南中学校	478人

豊田南小学校通学区

こだての かみあらや もりおか やとう たじま かみまんのう
小立野、上新屋、森岡、弥藤太島、上万能、
ひとこと とよだにしにのしま ながもり げんべいしんでん
一言の一部、豊田西之島、長森、源平新田、
もりした しちまんのう
森下、下万能の一部

青城小学校通学区

みやのいっしき なかだ けごじま えびつか さきはらじま しち
宮之一色、中田、気子島、海老塚、笹原島、下
まんのう たての もりもと かみほんごう しちほんごう あかいけ
万能の一部、立野、森本、上本郷、下本郷、赤池



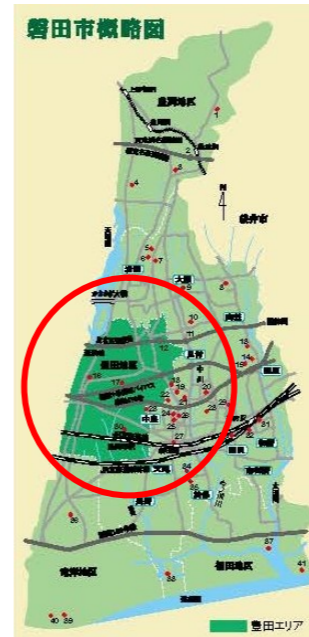
西之島学校校舎『磐田の近代教育』より

学府名の由来

井通・青城学府は、豊田南小学校の通学区と、青城小学校の通学区をあわせた地域から成り立ちます。

井通は、昔「井」と呼ばれた寺谷用水路が、かつての井通村の中心を通過していたことから命名されました。

青城は、西之島学校を築いた熊谷敬三の雅号（別名）である青城より名付けられ、青城小学校の校名に残されています。



豊田地区の地図



「いわたふるさと散歩（豊田編）」磐田市文化財課より

1

郷土の偉人・熊谷敬三《西之島学校や若宮八幡宮》

1875（明治8）年、熊谷敬三（1819-1900）の尽力により、洋風木造校舎の西之島学校が完成しました。当時の校舎の様子は、絹本着色西之島学校図（市指定文化財）に伺い知ることができます。何度かの改称と改築を経て、現在の豊田南小学校となっています。

また、熊谷は28カ村の神社を森下に集めるように協議し、郷社若宮八幡宮を新築しました。彼の功績をたたえ、1895（明治28）年に記念碑が建立され、豊田南小学校校門の近くにあります。



熊谷敬三『ふるさと豊田改訂版』より



井通尋常高等小学校（旧西之島学校）校舎
『豊田町誌 資料編VI』口絵より



絹本着色西之島学校図
『磐田の文化財』磐田市文化財課より

2

ひとことざか ちょうちんの ぶししょう
一言坂と挑灯野の古戦場《武将たちの戦い》

1572（元龜3）年、徳川家康は、武田信玄の軍勢と一言坂で戦いました。予想以上の大軍を前に退却をよぎなくされ、この時、徳川方の本多平八郎忠勝は軍の最後尾で防戦しました。忠勝の奮戦は実にめざましく、武田軍もこれをほめたたえたと伝わっています。また、家康は上万能の深い沼地に布の橋をかけ、近くの松林にたくさんの提灯とノボリをかがけて、敵をおびきよせました。武田軍は沼地でたくさんの兵を失い、後にそこは「提灯野」（現在は「挑灯野」）と名付けられました。

この戦いに苦戦した家康は、一生に一度、一言だけ願いを聞いてくださるという近くの観音様に祈願したところ、無事浜松城へ帰還することができました。そこで、この観音様のある村を、一言村と呼ぶようになったといわれています。

4

いろいろな施設の充実

1991（平成3）年に豊田町駅が完成し、その後たくさんの商業施設や、住宅街等の建設により発展を続けてきました。

香りにまつわる展示を行っている「香りの博物館」や、ガラスと金属をテーマにした体験型文化施設「新造形創造館」など、文化施設も充実しています。

2022（令和4）年に「磐田市民文化会館 かたりあ」が完成しました。コンサートや演劇など、様々な催しが開催されています。

「かたりあ」の北側にある「ひと・ほんの庭 にこっと」は人と本を介し、市民交流や子育て支援などの場を提供する複合施設として、旧豊田図書館をリニューアルしました。

くわしく調べるには

■井通・青城学府（豊田地区）について

- ・『わたしたちの豊田町』・『豊田町誌』・『豊田歴史の玉手箱』
- ・『郷土研究資料第3集 ふるさと豊田 改訂版』★ ・『郷土研究資料第7集 ふるさと豊田写真集』

■熊谷敬三（西之島学校）について

- ・『わたしたちの磐田』・『磐田の記録写真集 第三集 磐田の近代教育』
- ・『わが心の母校 遠州学校物語』・『解説 見付学校 改訂版』
- ・「磐田を知りたい！調べたい！（小・中学生向け） 磐田の学校の歴史」◆

■寺谷用水について

- ・『世界かんがい施設遺産 寺谷用水』・『まんがでわかる 寺谷用水』・『わたしたちの豊田町』

■一言坂や挑灯野について

- ・『郷土研究資料第3集 ふるさと豊田 改訂版』★ ・『郷土研究資料第4集 町内史跡めぐり』★
- ・「磐田を知りたい！調べたい！ 磐田の戦国武将物語」◆

■智恩齋について

- ・『郷土研究資料第4集 町内史跡めぐり』★ ・『磐南の寺院』

■地区の文化財について

- ・『磐田の文化財』 ・「いわたふるさと散歩 磐田の文化財マップ（豊田編）」★
- ・『郷土研究資料第4集 町内史跡めぐり』★ ・『磐田市内文化財案内図』★

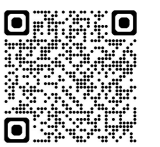
■いろいろな施設について

- ・『磐田市市勢要覧 2023』★

◎磐田市ホームページ 「トピックス一覧 >（施設ガイド）」



図書館ホームページ



磐田市ホームページ

※◆印は図書館ホームページの「発見！いわた」コーナー、
 ★印は電子図書館から見るすることができます。

3

ちおんさい
智恩齋《願いをかなえた観音様》

一言坂の戦いの時、家康の祈願がかなって戦いが有利になったといわれる一言観音は、現在、智恩齋というお寺の山門西側に安置されています。家康はこの一言観音のご利益によって救われた恩返しに、1648（慶安元）年、「知恩齋」（現在は「智恩齋」）という寺名を贈りました。

地区の文化財

井通・青城学府内には、「絹本著色西之島学校図」（現在、磐田市文化財課に収蔵）のほかにも様々な文化財が残されています。「木造薬師三尊仏」は安土桃山時代の作と考えられ、小立野の林昌寺に安置されています。「紙本著色十六羅漢画像」は江戸後期、東海道日坂宿（掛川市）に住んでいた画人、大須賀陶山が描いたもので、16幅が立野の安楽寺に保存されています。いずれも市指定文化財です。

他にどんな文化財があるか、調べてみましょう。



市指定文化財

右： 紙本著色十六羅漢画像
 左： 木造薬師三尊仏
 『磐田の文化財』 磐田市文化財課より